

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	上海交通大学 (国名:中国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	IMBA	
留学期間	2010年 2月 ~ 2010年 8月	
学部/学府・年次	経済学府	2年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・無 (期間: )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から ) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	ネットと知り合いを通じて(予定)	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	中国、韓国関係のお仕事に努めたいと思っています。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	日本の事情はよく分かりませんが、韓国ならば肯定的に影響します。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	Management Accounting、Multinational Strategic Management、Data Model and Decision Making、Business Ethics and Corporate Social Responsibility、International Marketing Management、Operation Management、Macroeconomics and Public Policy Corporate Finance の 8 科目が一学期に開設されています。向こうの正式学生たちは 8 つをすべて聞かなければなりません、交換留学性は自分が必要としている科目だけで十分です。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>留学生一人に TUTOR が一人ついていきますので、結構助かりました。  語学面: 約 9100RMB の自費で交通大内の国際語学院の登録しました。  勉学面: 特に留学生としてのサポートはありませんでしたが、現地学生とほぼ同じ待遇だったと思います。  精神面: Tutor を始め、現地学生から色々助けられました。  住居・生活面: 寮の一階管理人さんや同級生に助けられました。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>中国では 3, 4 番目の優秀な学校で、中国のトレンドである MBA 過程も構成よく整えています。しかも、大学の位置(MBA と国際語学院)は繁華街にありまして、生活的に便利なところですよ。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>短い時間なのでまえもってちゃんと計画をたっていてほしいです。 (詳しい話は英語の報告書を参考してください。)</p> <p>日本でも留学している自分の立場から言うと異なる国には異なる基準と常識があります。自分も日本で皆さんにとって常識ということが自分の国と異なったりすることを日々感じています。中国も同じく、しかも経済発展速度により、日本より遅れたりそれとも速かったりします。(例えば、欧米文化の影響で個人主義、能力主義、高い英語能力、大国として大きい世界観、終身雇用制度がないので会社に対する忠誠心のないことなど、)。話が長くなりましたが、最初は文化ショックを受けるかもしれませんが、基本的にオープンマインドでアプローチしたほうが、気楽になると思います。</p> <p>私が使った方法は人が何かをする時には必ず理由があるということを知ることで。また向こうの現地学生たちが私たちに必ず優しくする必要のないこと。一緒にいた同じ交換留学生たち(主に西洋人)を見ると、Tutor でもない一般学生たちにも当たり前前に何かを頼んだりすることを良く見かけていました。頼まれたらすぐしてくれるかもしれませんが、それって結局友達になれるでしょうか。(と私が疑問を持っています。)</p> <p>また、Tutor さんに自ら積極的に頼んだほうが色々な面でお互い便利だと思います。自分は Tutor の仕事だと思っているところは(常識の範囲に)、そうしたほうが早い Tutor もいます。(それは国の問題ではなく、人の性格によりますけど、)</p>
--------------------------------	--

<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Fビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>韓国釜山</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>写真、パスポート、JW202、申請書</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>4, 5 日</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>私は韓国人で、母国に帰った時にビザを申請しましたので、日本人の皆さんとは異なる手続きだと思います。ですので、詳しいことは入局管理局に電話で確認したほうが一番早いと思います。(初めての方々は HP だけの必要書類リストを読んででも分からないことが多いのです。)</p>

<b>3. 日常生活</b>	
日常生活の概要、感想	上海はアジア第一都市なので(公式人口約2200万人)、生活面に不便はないと思います。午前中はMBA授業、午後は中国語の授業というのが基本です。ところで、午後は主にMBAのグループ活動がありますので(Team Presentation),結構忙しい生活です。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 112000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 30,000 円、 光熱水料: 円、 通学費: 円、  食費: 50,000 円、 電話代: 3000 円、 インターネット代: 円、  書籍代: 5000 円  その他:(具体的に)中国語の授業:24,000/月</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 120000 円  (徴収された費用の名目を具体的に:中国語の授業)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、カメラ、日本のお土産
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	上海は中国内で一番治安のよい都市だと言われています。ですが、日本でもどこの国でも悪い人はいますので、いつも気をつけてください。

<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>中国4代銀行の一つであれば、なんでもいいです。 Bank of China もいいですが、工商銀行のほうが学校と近かった気がします。 (現地 Tutor に便利のいい銀行を聞いてください。) また為替レートは日本のほうが手数料がはるかに高いです。 私の場合は 5 万ぐらい RMB に換金して行って、残りは全部現地で持っていた円を RMB に換金しました。</p>
---	---

#### 4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>Xuhei Campus の9棟で、詳しい住所は後で向こうの留学生課に聞いたら、すぐ分かると思います。</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>75RMB/DAY</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>向こうの学校に自分から電話して直接お願いしました。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>推薦です。いろんなことを学べるいい機会です。文化の違い、上海では外国人の中日本人が一番多い都市です。何故、今上海で日本人がそんなに多いのでしょうか。上海に進出している日本企業を調べたらいかがですか。それこそ現地の友達をたくさん作ることは勿論第一のことですが、現地で活躍している外国人(日本人でも何人でも)に会うことも面白い経験です。</p>
<p>留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>上海は大都市なので、ネットで色々な情報もありますし、日本人向けの生活情報誌も日本食堂に行くときよく見かけます。また、九州大学のネットワークや福岡県のネットワークもいいです。  また、小さいことですが公害が日本よりは少しひどいのでのどが痛くなったりする可能性もありますので、のど薬、風邪薬など日本で普通使っている薬を準備して行ったほうがいいです。</p>

#### 5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
JETRO		私の場合は主に韓国語のサイトを参考していたので、皆さんに役に立たないと思います。

#### 6. その他の特記事項

前もって TUTOR を探してください。